

令和6年 7月 1日

日本コンクリート診断士会会員 各位

JCD2024年度 年次大会（青森）発表申込書

（一社）日本コンクリート診断士会

技術部会長 古川博人

会員の皆様におかれましては、ますますご活躍のことと存じます。

2024年次大会（青森）「保有技術発表及び業務体験発表」についてご案内いたします。

年次大会は、法人会員が保有する技術の発表である「保有技術発表」と、会員の発表である「業務体験発表」を同日に開催します。

これらの発表会は、各地区特有のコンクリート構造物の劣化状況およびその診断技術に広く触れることでコンクリート診断士のスキルアップにつながると共に、会員相互の交流を深めることを目的として開催しております。

「保有技術発表」「業務体験発表」のどちらかに発表される場合、別紙の報文申込書にその旨を記載して日本コンクリート診断士会（以下、JCD）の事務局へ提出願います。

記

- (1) 日 時 令和6年10月10日（木）
保有技術発表 10:30～12:00 （発表4件×各20分）
業務体験発表 13:30～17:00 （発表10件×各20分）
- (2) 場 所 青森県青森市：ねぶたの家 「ワ・ラッセ」 交流学習室
〒030-0803 青森市安方1-1-1 TEL:017-752-1311
- (3) 主催：日本コンクリート診断士会、共催：青森県コンクリート診断士会
- (4) 発表資格 JCD会員（学会会員、正会員、法人会員とする）
- (5) 発表費用 保有技術発表:4,000円/件、業務体験発表:無料
- (6) 発表申込締切：令和6年8月9日（金） ※採否通知：8月16日（金）
- (7) 報文提出期限：令和6年9月20日（金）17:00
- (8) 発表申込先：JCD事務局 TEL:052-934-7877 E-mail:info@jcd-net.or.jp

各発表は質疑応答及び入れ替えを含め各20分とし、発表件数は時間の都合上から午前を4件、午後を10件とします。発表申し込みが予定件数を超える場合は、技術部会が申込内容を確認した後、採否をご連絡致します。

視聴参加の申し込み募集は、事前に別途ご案内しますが、プログラムなどの詳細につきましては発表内容を確定後に改めて会員にご案内いたします。

参加視聴方式は、会場でのリアル発表+Web発表のハイブリッド方式とします。

◆応募要綱◆

1) 保有技術発表

①保有技術発表資料集はA4用紙2～6ページ程度とし、書式は自由とします。

2) 業務体験発表

①業務体験発表報告文はA4用紙2～6ページ程度とし、書式を統一するため別途(※)業務体験発表原稿執筆要領を参考としてください。

②各地区診断士会からの発表は1編を基本とします。内容は、すでに地区診断士会のセミナー等で発表済みでも構いません。

③申込書提出は、その段階で発表者が未定でも構いません。

3) 発表概要

①発表はパワーポイントを使用し、発表時間は1人15分とします。(質疑応答及び入れ替えを5分として合計20分)

②発表方式は、会場でのリアル発表またはWebによるリモート発表も可です。

4) その他

①提出された「報文」はすべてpdf化してHP会員専用ページに掲載します。

②非会員から報文集提供の要望がある場合は有料(4,000円)で印刷物を提供します。

5) お問い合わせ先

・JCD事務局 TEL:052-934-7877 E-mail:info@jcd-net.or.jp

・JCD技術部会長 古川博人 TEL:090-2834-6578 E-mail:ime.furukawa@gmail.com

以上

(一社) 日本コンクリート診断士会 事務局宛

E-mail : info@jcd-net.or.jp

2024 JCD 年次大会 (青森)

保有技術発表 申込書**業務体験発表 申込書**

以下の通り、保有技術発表、業務体験発表を申し込みます。令和6年 月 日

発表種別 (どちらかに○)	保有技術発表		業務体験発表	
発表方法 (どちらかに○)	現地発表		Web 発表	
執筆者 (代表)	所属診断士会			
	氏名 (フリガナ)			
	所属団体等			
	電話番号			
	メールアドレス			
共同執筆者	氏名 (フリガナ)			
	所属診断士会			
	所属団体等			
タイトル				
報文内容 (該当に○)	点検診断 調査	補修 設計	補強 施工	その他 研究
発表履歴	未発表 既発表 (平成,令和 年 月 にて発表)			
報告内容 (100字程度)				
発表が不採用の場合の対応	HP 会員専用ページへの 掲載のみを希望する / 掲載を希望しない			

(注1) 本申し込みは JCD (E-mail : info@jcd-net.or.jp) へ 8月9日までにお願いいたします。

(注2) 発表報文は JCD ホームページの会員専用ページに掲載し、非会員からの報文の提供要望には有料で印刷物を提供します。

(注3) 執筆者の地区診断士会が複数の場合には、代表者所属の診断士会扱いとします。

(注4) 記入内容に変更が生じた場合には、速やかに事務局へご連絡ください。

(注5) 発表連名者が4名(最大4名)のとなる場合は、「報告内容」の欄に追記してください。

(注6) 発表する場合には発表予定者の名前の前に○印をご記入ください。

以上

業務体験発表原稿執筆要領

1. 目的

講演概要集の目的は、聴講者の便宜のため、かつ来場できない会員に講演内容を伝えるために作成します。したがって、執筆者は、体験した業務の目的、考え方、手法および結論等を、聴講者が理解できるように配慮して下さい。

投稿は、原則論文形式とします。例外としてパワーポイント貼り付け書式を可とします。詳細は書式を参照してください。

2. データ書式

原稿は、Adobe Acrobat を用いて変換された、PDF ファイルで提出して頂きます。なお、小さな書式等の修正が必要な場合がありますので、作成された原稿を添付してください。印刷した場合のページ数がA4 判タテ型・2 ページ、4ページまたは6ページとなるよう原稿を作成して下さい。最後に通しでページつけますので原稿にはページ数を入れないでください。また、投稿するファイルはPDF 形式とし、圧縮ツールは使用しないで下さい。

作成したPDF ファイルの原稿は、Adobe Reader（アドビシステムズのホームページよりダウンロードできます）を用いて、執筆者の意図したとおりに印刷されることを確認して下さい。

PDF 化にあたっての解像度の設定は制約を設けません。ただ、印刷を考慮すると、テキストおよび白黒ビットマップ画像の解像度は1200dpi 程度、カラーおよびグレースケールのビットマップ画像（写真等）の解像度は300dpi 程度が目安になります。なお、編集の障害となりますので、PDF ファイルにパスワードの設定は絶対に行わないで下さい。

3. 使用アプリケーション

原稿作成に使用するプラットフォーム／アプリケーションソフトは問いませんが、最終的に投稿するファイルはPDF 形式（Version1.3互換）とし、Adobe Acrobat Reader 5.0から9.0で表示／印刷できるものとします。なお、作成したアプリケーションがワード以外の場合には修正等があった場合には修正をお願いすることになります。

PDF 化にはいくつかの方法がありますが、上記を満足する限り、執筆者の判断で適宜選択して頂いて結構です。

4. 用紙設定

A4 版・縦（210×297mm）とし、上下余白各18mm、左右余白各15mmを必ず確保して下さい。

5. 書式

横書き、48 文字／行、42 行／ページ程度を標準とします。本文の文字の大きさは10.5ポイント程度としフォントは、英数字；Time（Times New Roman）／Helvetica／Symbol／Century等を、日本語；明朝、明朝ゴシック等を使用して下さい。

日本語フォントにおけるギリシャ文字（σδε等）の使用は可能ですが、機種／フォントに依存する特殊文字（①，②，Ⅰ，Ⅱ，㎡等），半角カナおよびHG 系のフォントは文字化けの原因となりますので使用しないで下さい。上記は、異種プラットフォームにおけるファイルの互換性を確保するために必要です。

報文の書式は、「書式例」を原則とします。なお、書式例は所定の余白に設定されていますので変更せずにそのまま使用してください。

6. 表現方法

文字色は黒とします。図・表・写真等については色の制約はありませんが、白黒モニタ/プリンタに出力した際に問題が生じないよう配慮して下さい。なお、原稿の中に関連するホームページへのリンクを作成しても構いません。

7. 書き出し

原稿の1ページ目には、題目・所属診断士会名・勤務先・氏名・本文の順に書いて下さい。ただし、診断士会名は県名などのみとする。法人会員で正会員または賛助会員登録していない場合には、所属診断士会名は「法人」と表示して下さい。

題名は第1行の中央に配置し、左側は後からの講演番号記入用にマージンから20mm程度開けるようにして下さい。次に1行あけて、所属診断士会名・勤務先・講演者名（連名の場合は発表者（前に○印を記入）、連名者の順。発表者は、JCDの会員に限ります。なお、連名は発表者も含めて最大4名以内）を右側に寄せて書き、1行あけて本文を書き出して下さい。

8. キーワード・連絡先

1ページ目最下段に罫線を入れ、キーワード（6語まで）および連絡先を記述して下さい。

9. 図・表・写真

図・表・写真等は原稿に張付けた状態でPDF化することとし、別ファイルにしないで下さい。

10. 原稿の取扱い

原稿ファイルは電子申込み時に同時に送信して下さい。ただし、何らかのトラブルで印刷原稿を再送していただく必要が生じる可能性がありますので、原稿ファイルは削除しないで保存しておいて下さい。なお、掲載された原稿は返却いたしません。

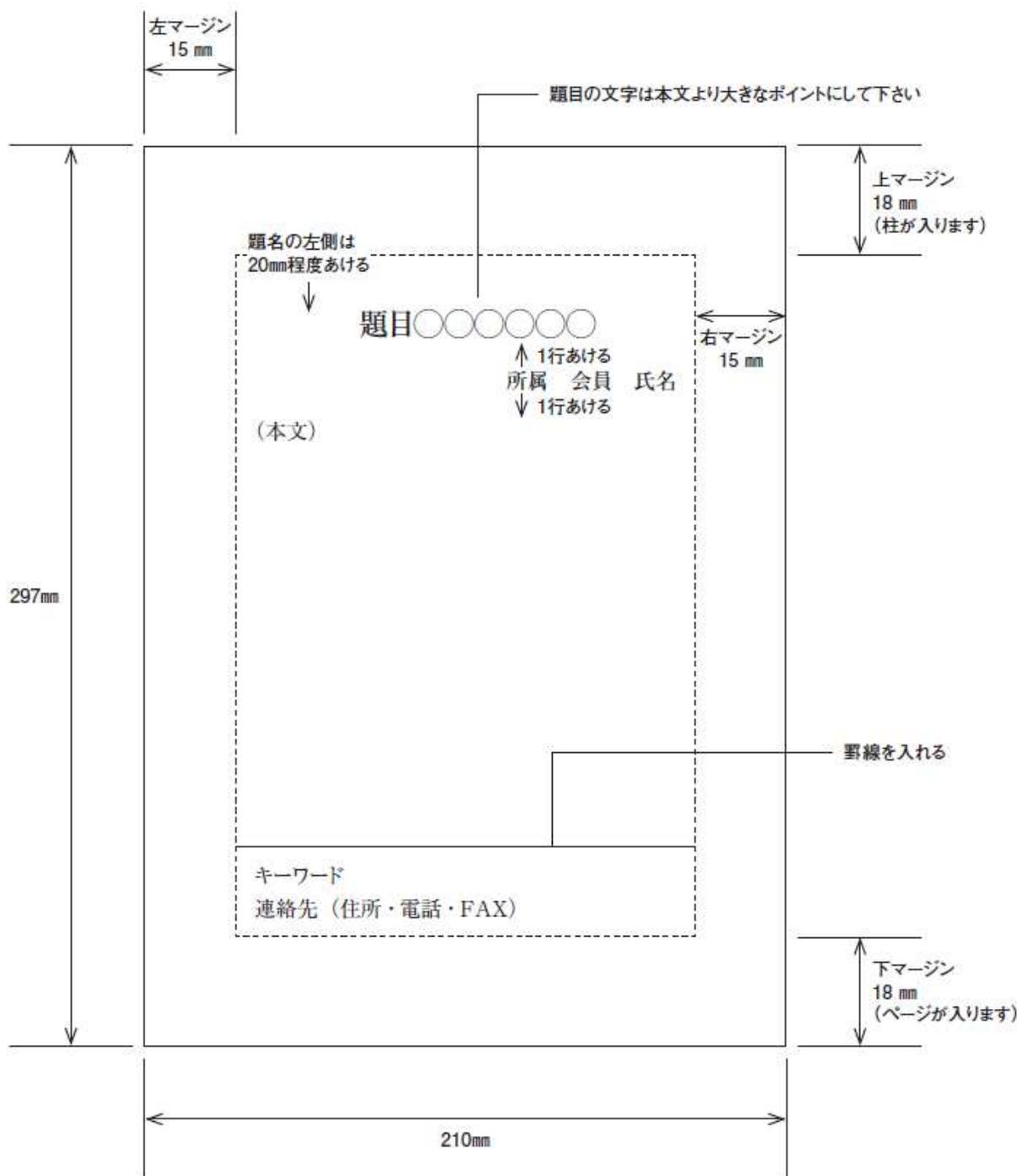
11. 原稿受付期間

受付期間：令和6年9月20日（金）17時、提出先：一般社団法人日本コンクリート診断士会事務局
送信先のメールアドレスは下記です。

E-mail : info@jcd-net.or.jp

以上

(論文形式)：原則の書式例



注)点線の囲み枠は印字いただく範囲を示したものですので原稿には不要です。

キーワード例

[維持・管理] アセットマネジメント, 検査技術・診断, リニューアル (維持管理・補修・補強・更新)

[施工 (技術)] 施工計画, 施工技術, 情報化施工, 測量・計測, GPS, GIS, リモートセンシング, 技術開発, 新材料・新素材, 建設環境 (リサイクル), 河川構造物, 港湾・海洋構造物, 空港, 橋梁, 開削トンネル, シールドトンネル, 山岳トンネル, 地下構造物, ダム, 各種基礎, 特殊構造物, 耐震・免震, 鉄道

[土木材料] リサイクル, 新材料・新工法 (材料), 骨材, 混和剤, 混和材, フレッシュコンクリート, 高流動コンクリート, 水中コンクリート, 軽量コンクリート (材料), 吹付けコンクリート, 短繊維補強コンクリート (材料), 連続繊維補強コンクリート (材料), 海洋コンクリート, 特殊コンクリート, 物性, 評価・試験方法, セメント化学, 引張・圧縮, クリープ・収縮, ひび割れ, 温度応力, 製造・施工, 品質管理・検査, ポンプ圧送, 締固め, 維持管理, 劣化予測, 耐久性一般,

耐火性，複合劣化，鋼材腐食，防食，塩害，凍害，アルカリシリカ反応，非破壊試験法，補修・補強（材料），耐久性設計，副産物利用・再生材料，再生コンクリート，エコ・緑化コンクリート，リニューアル，ライフサイクル（LCC・LCA），サステナビリティ

[コンクリート工学／構造] 新材料・新工法（構造），軽量コンクリート（構造），短繊維補強コンクリート（構造），連続繊維補強コンクリート（構造），プレストレストコンクリート，プレキャストコンクリート，コンクリート製品，補修・補強（構造），破壊力学，曲げ，せん断・ねじり，耐震，振動，耐震補強，耐震診断，付着・定着・継手，疲労・衝撃，数値解析，構造設計，構造物調査・診断

書式例を次ページ以降に示しましたのでご利用ください。

(論文形式書式例) ○○橋梁の点検・診断例 (12P) →題目は左から20mmから書き始める
(1行あける)

東京 診断士会事務局 ○山田 太郎
法人 建設コンサル 山田 二郎

(1行あける)

(本文) 書き始め

キーワード:

連絡先:

(2P分)

(例外の書式例)

タイトル：〇〇橋梁の点検・診断例 (12P)

(1行あける)

東京 診断士会事務局 ○山田 太郎
法人 建設コンサル 山田 二郎

(1行あける)

(要旨) 書き始め (10.5P)

(報告の内容がわかるように記述する。なお、文字数の制限はありません)

PPT の図他

キーワード：検査技術・診断, リニューアル
連絡先：



(以下，偶数ページとなるように作成する。ただし，最大6ページまで。)